



新・エネルギーセミナー
「パースペクティブ・エネルギーチェーン2 -いよいよ発効する京都議定書にむけて-」

主催：化学工学会エネルギー部会 新エネルギー・エネルギーシステム分科会
名古屋大学エネルギー問題研究会

共催：日本伝熱学会高温エネルギー変換工学研究会，
名古屋大学エコトピア科学研究機構エネルギー科学研究部門，
名古屋大学高温科学研究会

後援：環境パートナーシップ・クラブ（EPOC）

開催目的：化石エネルギーの有限性のみならず、炭酸ガスの大量排出等に伴う地球温暖化やアジア等の急速な経済活動の活性化に伴うエネルギー需給バランスの不安定化に対して、エネルギーの効率的利用技術と低環境負荷エネルギーを開発するとともに、これらを中心としたシステムを社会へ速やかに導入することがますます重要となってきている。

本セミナーでは、これらの課題に社会全体として取り組むために、文明社会が未来へ持続的に発展するためのエネルギーの新しい利用システムの考え方や施策などを幅広く議論し、今後の行動基軸を模索する機会としたい。

日時：平成17年2月9日（水）13：00～17：30

講演会題目：新・エネルギーセミナー「パースペクティブ・エネルギーチェーン2 -いよいよ発効する京都議定書にむけて-」

場所：名古屋大学環境総合館レクチャーホール
(<http://www.nagoya-u.ac.jp/sogo/higasiyama.html> 地図中76番の建物)

参加費：講演会は無料。懇親会は3000円(税込み、当日申し受けます)

交通：名古屋からのアクセス：地下鉄東山線「名古屋」乗車、「本山」駅下車
名城線乗り換え「名古屋大学」下車 徒歩3分

申込み：氏名、所属、連絡先ならびに懇親会の参加希望の有無を明記の上、電子メール
あるいはファックスにてお申し込み下さい。

お申し込み先：名古屋大学エコトピア科学研究機構 小林敬幸
電子メール：koba@esi.nagoya-u.ac.jp ファックス：052-789-5428

プログラム：

13：00～13：10 主催者挨拶

13：10～13：50 講演1

(財)電気技術者試験センター 理事長・地球環境総合技術開発機構 元専務理事 山口 務 氏
「エネルギー政策と地球環境保全との調和の鍵は技術
- 革新技术によるブレークスルーを目指して -」

13：55～14：35 講演2

京都大学大学院エネルギー科学研究科 教授 坂 志朗 氏
「21世紀を切り拓くバイオエネルギー」

14：35～14：45 break

14：45～15：25 講演3

(財)石油産業活性化センター技術企画部 主任研究員 早内義隆 氏
「石油を取り巻く環境と技術課題」

15：25～16：05 講演4

(財)電力中央研究所社会経済研究所 上席研究員 浅野浩志 氏
「将来の電源構成変化を考慮した分散型電源の普及影響」

16：05～16：20 break

16：20～17：00 講演5

(株)ユニバーサルエネルギー研究所 代表取締役 金田武司 氏
「水素社会と未来のエネルギーシステム」

17：00～17：30 総合討論

17：30 閉会

18：00～ 懇談会